

# REAL SEO

## はてなのSEO戦略Vo.2

はてブは無限に広がるWEBの世界を結びつけるコンタクトポイントの役割を果たしています。

[はてなのSEO戦略](#)の続編です。

しばらく見ないうちに、サービスが増えていますね。

### はてなのサービス

- [Q](#) [人力検索](#) (Q&A)
- [A](#) [アンテナ](#) (更新チェック)
- [B](#) [ブックマーク](#)
- [D](#) [ダイアリー](#) (ブログ)
- [F](#) [フォトライフ](#) (ウェブアルバム)
- [G](#) [グループ](#) (グループウェア)
- [M](#) [ハイク](#) (ミニブログ)
- [K](#) [キーワード](#)
- [M](#) [メッセージ](#)
- [R](#) [RSS](#) (RSSリーダー)
- [S](#) [スター](#)
- [🔍](#) [検索](#)
- [📊](#) [グラフ](#)
- [I](#) [アイデア](#) (要望市場)

[もっと見る](#)

すべてのサービスを把握してないので、詳細には触れません。

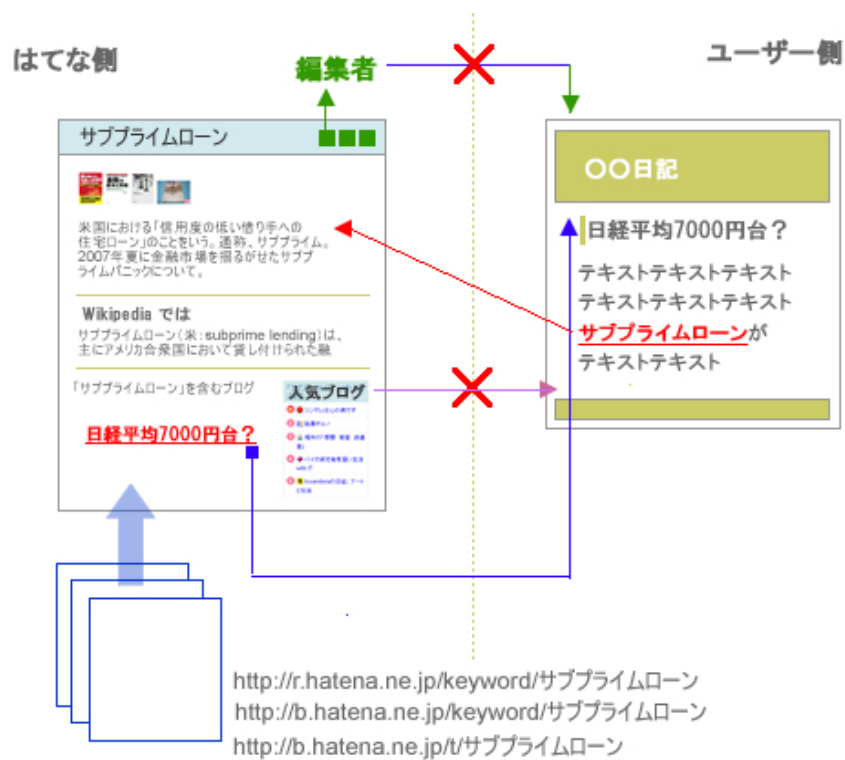
今回は、『はてなユーザー』と、『運営者側』の2つの視点で、

前回触れなかったブックマークサービスも併せて全体を見渡してみます。

## キーワードの仕組みに変化あり

はてなユーザーの大半が、『[はてなダイアリー](#)』というブログサービスを使用しています。

『リンクの流れ』という視点から見てみましょう。



ユーザー側（右側）がブログを書くと、記事に記述された、『キーワードリンク』が作成されます。

上記の例でいくと、『サブプライムローン』へのテキストリンクが貼られていることとなります。

これは、非常にポイントの高い良質なリンクと言えます。

この『キーワード（サブプライムローン）』は、Wikipediaのように、ユーザー自ら編集者となり、文章を追加できます。

右上に、『編集者』が表記されていますが、ここは、ユーザーの『はてなダイアリー』のトップページへのリンクが貼られていました。

<http://d.hatena.ne.jp/ユーザー名/>

現在では、トップへの直リンクではなく、

<http://k.hatena.ne.jp/ユーザー名/>

となっており、ワンクッション挿入された形態となっています。

以前ならば、『サブプライムローン』というキーワードを編集すると、そのページからの直リンクがもらえました。

キーワード編集ユーザーにとっては、有効なリンク源が断たれたこととなります。

そのかわりに、上記のユーザー固有のキーワードページへリンクが集まることとなります。

<http://k.hatena.ne.jp/> は、新たに作成されたサブドメインのようですが、

<http://k.hatena.ne.jp/>へ行くと、

<http://d.hatena.ne.jp/keyword/> にリダイレクトされています。

(何か意味があるのでしょうか)

右下にある、「サブプライムローン」の人気ブログですが、各エントリへのリンクかと思いきや、

<http://d.hatena.ne.jp/ユーザー名/searchdiary?word=キーワード>

という形式になっています。

これらの変更は何をもたらすのでしょうか？

1ユーザーからすると、今までもらえていたリンクのポイントが半減する印象です。

SEO効果をユーザーに与えて、記事数やキーワード量を確保する段階から、外部ユーザーにとっても情報サイトとして活用できるレベルへの移行を目指しているのでしょうか。

(リンク稼ぎのユーザー排除？質の向上？)

少なくとも、『はてな』全体のインデックスは増えるでしょうね。

## ブックマークサービスとのつながり

[はてなのSEO戦略](#)では触れませんでした。ブログと並ぶ、代表的なサービス『[はてなブックマーク](#)』について少し考えてみます。(用語集：[ソーシャルブックマーク](#))

日本では、もっとも早く浸透したソーシャルブックマークと言えるでしょう。

他のサービスに比べ、『はてな』の会員以外にも利用されます。

『はてな』という少し閉じた世界と、無限に広がるWEBの世界を結びつけるコンタクトポイントの役割を果たしています。

### 高校入試、茶髪・眉そりチェックし不合格 神奈川の県立

2008年10月28日20時40分

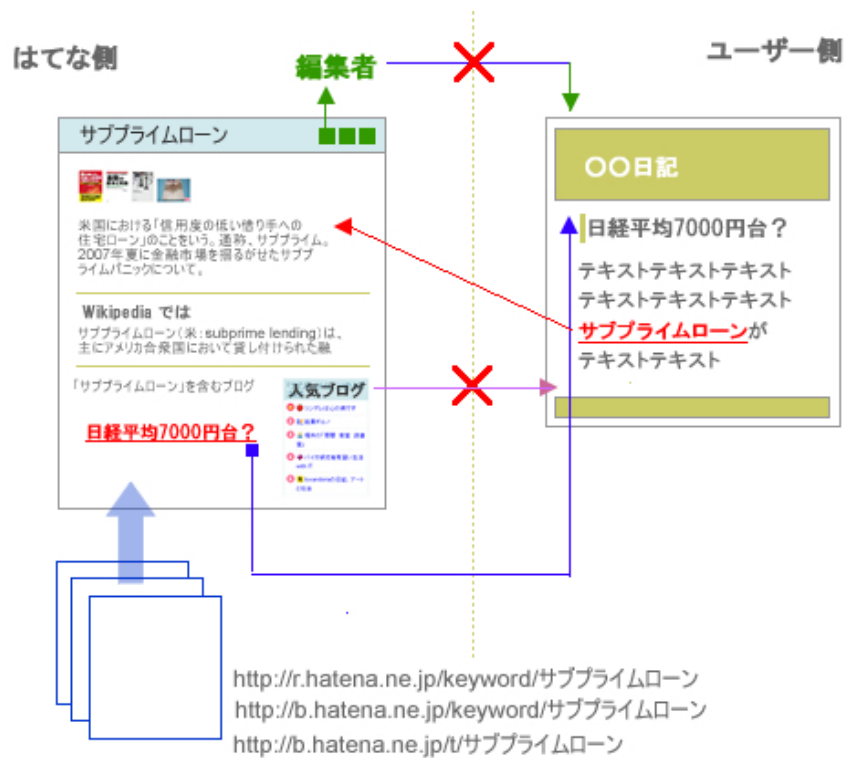
ソーシャルブックマーク



印刷

上記の『+B』の青いマークが登録ボタンです。(上記はasahi.comの記事)

使ったことはなくても、目にしたことはあるはず。現在では多くのニュースサイトで活用されています。



もう一度リンクの流れを見てみましょう。

ブログを書いたり、キーワード編集したり、ブックマークしたり・・・。

すると、(画像下部にある3つのリンク)

キーワード「サブプライムローン」を含む注目エントリー

「サブプライムローン」に関連した写真、動画、ブログ、2chスレッド - はてなRSS

タグ「サブプライムローン」を含む注目エントリー

上記のようなページができあがります。

こうした連動性が、『はてな』の最大の強みといえるでしょう。

## 他のブログサービスにないある仕組み

リアルSEOを読んでいる方のほとんどが、何らかのブログ(更新性のある記事)を書いていると思います。

あなたが書いた、1年前の記事ですが、きっと検索エンジンの巡回頻度は落ちていることでしょう。

なぜなら、本文は更新されないからです。(クローラーする必要はない)

一般的なブログサービスは、サイドバーなどは入れ替わったりしますが、記事本文が書き換えられることはないでしょう。

『はてな』は、ユーザーが更新しない昔の記事に対して、定期的に(?)ある変更を加えています。

私は、これが『はてなダイアリー』のクローラー巡回の頻度が高くなるひとつの要因と考えています。

そして先ほども述べた、コンテンツの連動、そしてモンスター誕生。

[site:hatena.ne.jp](http://site:hatena.ne.jp) (76,200,000件のインデックス数)

次回につづく・・・。